

令和8年5月27日
最上総合支庁

令和6年7月大雨で被災した新田川（新庄市本合海地内）の
堤防決壊箇所（4箇所）の復旧完了について

令和6年7月の大雨で、警官2名が殉職されるなど大きな被害のあった新田川において、決壊した堤防（4箇所）の復旧工事が5月27日に完了します。
（新田川被災箇所26箇所のうち堤防が決壊した4箇所全てが復旧完了）
県では被害の状況を踏まえ、新田川の復旧にあたり堤防の強化及び情報発信の強化の対応を行っております。
新田川の残る被災箇所についても引き続き早期復旧に努めてまいります。

（1）堤防の強化

国土交通省や学識経験者からなる「最上川堤防調査委員会」の指導を受け、ブロックで覆う範囲を被災前より増やすなど「決壊しづらい堤防」へ強化

※「最上川堤防調査委員会」について

- ・令和6年7月31日、9月13日、11月21日の3回開催
- ・委員構成（五十音順、役職は当時のもの）

石原 雅規 国立研究開発法人土木研究所 地質・地盤研究グループ 上席研究員
風間 聡（委員長） 東北大学 大学院工学研究科 教授
瀬崎 智之 国土交通省国土技術政策総合研究所 河川研究部 河川研究室長
山田 正太郎 東北大学 大学院工学研究科 教授

（2）情報発信の強化

新たに水位計（清水橋、駒場橋）を設置して情報発信の強化

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



担当

建設部河川砂防課

最上地域豪雨災害復旧対策室

職名 室長補佐 栗田 修

電話 0233-29-1443